

特集

講演会 「セロ弾きのゴーシュ」に隠された謎!?

2024年度の左京図書館・図書館友の会けやき共催の講演会を、2月15日土曜日の午後、左京図書館上階会議室で行いました。講師に、アマチュアのチェリストとして国内外で演奏活動を行う、関成孝さんをお招きし、「セロ弾きのゴーシュ」についてお話を伺いました。参加者は宮沢賢治の熱心なファンが多く、講師の考察に、興味深く頷く姿が見られました。

関さんは、演奏と朗読の会で仲間と『セロ弾きのゴーシュ』に取り組むにあたって、作品を調べてみると気が付かない面白い視点がたくさんあるとお話を切り出されました。ご自身が楽器をするから見えてくる深い読み解きに、演奏を交えてお話しくださいました。

まずは、時代背景と賢治のチェロについて。宮沢賢治は1896年～1933年、激動の時代を生きました。戦争があり、世界恐慌、東北地方の冷害による大凶作の経験から、生きることを楽しくしなくてはいけないという思いで、芸術への取り組みや農業的には土壌改良などを通して地元の人々と交流しました。芸術への取り組みからエスペラント語で詩を書

き、朗読するときの伴奏をチェロでと思ったとのこと。体が弱く、寿命を意識したこともチェロを買うきっかけでした。2年後には体調を崩し、チェロを弾いていたのは実質2年ほどなのだそうです。

とても良いチェロを購入したようです。付属品も含め当時230円くらい。賢治の給料は70～80円くらいなので3か月分ほど。今なら楽器だけで100万円するそうです。関さんは問いかけます、「初心者でいきなり100万円の楽器を買いますか?!」。でも、自身が結核にかかっていたことを知っていた賢治は、先が長くないことを自覚していて最高級の楽器を買ったのではないかと推察されていました。

更に「楽器を買っていきなり自分で弾けますか?無理ですよ」。そこで、賢治は上京し、新交響楽団の天津三郎氏に習ったというお話。3日間、ケースだけで10kgはしたであろうチェロを背負って、夜明け前に出て、おそらく1時間半はかけて2時間のレッスンに通ったそうです。でも、いきなり上手に弾くことは困難で、ゴーシュは賢治自身であったのだろうとのこと。

いよいよ『セロ弾きのゴーシュ』のお話に迫っていきます。



チェロ演奏の様子

ゴーシュという名前は、フランス語で「左の」「不器用な」の意味とのことですが、初めの原稿には名前が無く「セロ弾き」だったそうです。何年もかけて筆を入れるなかで、ゴーゴーガーというチェロの音に合う名前を模索していたようです。

次に、キーパーソン（動物ですが）とのやり取りの場面が読み解かれていきます。

初めにやってきた三毛猫は、ふてぶてしくも、ゴーシュの畑から、まだ、熟していないトマトを土産と言って持ってきました。トマトとキャベツは、農家の収入と栄養事情を改善するため、土壌改良をしながら賢治が大事に育てていたものでした。でも、ゴーシュをもっとも腹立たせたのは「トロイメライを弾いてごらんさい」という言葉だったろうとのご指摘。美しく易しそうに聴こえる曲なので、多くのアマチュアのチェロ弾きが挑戦するのですが、なかなか音楽にならずに挫折するのだそうです。高価な楽器を買っていただけに、ゴーシュ（賢治）の悔しさは言葉にはなかったのでしょう。

次は、かっこうです。チェロでかっこうの鳴き声の音階を出すのは、初心者がつまづくポイント。指が広がらずに弦を押さえるところがずれ、音階ができないので苦労する。賢治も同じだったのではということです。チェリストならではの視点です。

たぬきは、ジャズを通してリズムに乗ることを教えてくれています。日本に入ってきて間もないジャズをゴーシュが知っていることが、関さんはクスッと笑えてしまうそうです。

ねずみの場面では、ねずみの子が入ったチェロの孔に注目。映像化された作品の多くで、ねずみがf字孔というチェロの孔に入っていますが、この孔は上13mm下17mmくらいで、小さすぎます。講演後の質疑応答では「家ネズミならこの穴に入るのは可能では？」という質問もありました。しかし関さん曰く「最後の場面で『ゴーシュがその孔のあいたセロをもって』とありますが、弦楽器に見られるf字孔のことをわざわざ『孔のあいた』というのでしょうか？」と回答。

実は孔の空いたチェロにはモデルがあるのだそうです。知り合いの音楽の教師、藤原嘉藤治、彼のチェロには3cmほどの孔が空いていたのだそうです。つまり作品はそのイメージで書かれ、本当に孔が空いていたと推理。

後に嘉藤治が晴れ舞台で演奏会をすることが決まったとき、賢治が自分のチェロと交換したことが幸いして賢治のチェロは戦火を免れました。賢治の生誕百周年では、世界的チェリストのヨーヨーマが、アンコールで賢治の楽器でトロイメライを弾いたのです。その演奏を聴いていた名チェリスト藤原真理さんが20年後に、そして、2023年には世界に名をとどろかす若手のホープ宮田大さんが賢治のチェロでトロイメライを弾いたのです。関さんは、賢治の思いが賢治のチェロで今に繋がっているとおっしゃっていました。

関さんは Web でも発信をされていて、許可をいただきQRコードを載せていますので、ここに書ききれなかった話題もぜひ読んでみてください。（山田）

ノート「セロ弾きのゴーシュ」の秘密!」



<https://note.com/shigeseki/n/nab4e3351ebae>
「セロ弾きのゴーシュ」、および、宮沢賢治にまつわる話を30の小編で紹介しています。

ノート「セロ弾きのゴーシュ考」



<https://note.com/shigeseki/n/nbef1d56bf4db>
いくつかのテーマについて、「セロ弾きのゴーシュの秘密」よりも詳細な内容を紹介しています。

講師：関成孝氏

アマチュアのチェロ弾きとして、国内、海外赴任先のアマチュア・オーケストラに参加。童話、文学作品などを、様々な視点から掘り下げる深堀鑑賞を行っている。博士（環境科学）。日本ハーバードクラブ評議員。宮沢賢治学会イーハトーブセンター会員。



REPORT 2024 年度

左京図書館読み聞かせ交流会

今回で20回を数える「読み聞かせ交流会・絵本入門講座」。左京図書館の近隣図書館にも告知のポスターを掲示し、より多くの人に参加していただけるようになりました。

第1回 子どもとおとなを惹きつけるものがたり絵本

～行って帰ってくるおはなし～

講師 中川あゆみさん（名古屋女子大学教授）

9月30日

講師の中川あゆみさんは、毎年この交流会で講演してくださるのですが、いつも新しい学びがあります。

今回のタイトルは「子どもとおとなを惹きつけるものがたり絵本～行って帰ってくるおはなし～」。

まだ字が読めない子は、絵を読んでいる。だから絵から物語を読み取る力を発揮できる。そして、その絵本に書いてある字を読んでくれる大人に信頼感を持つ。

この導入のお話には、育児経験を持つ私も深く頷けました。

そして絵本とは、その物語を「経験」することができるもので、子たちが安心してその世界に入っていける構造こそが「行って帰ってくる」ことなのだそうです。つまり、人間が太古の昔から繰り返している「行って帰ってくる」形式は、原初的で安心感を与える構造だともいえます。

後半は「かいじゅうたちのいるところ」と「めっきらもっきらどおんどん」という絵本を使って、急ごしらえの小グループに分かれ、声に出して読み合い、「行って帰ってくる」構造の中の共通項を探してみる、というミニワークシ

ョップも行われました。

こうやって、「行って帰る」お話は安心して疑似体験できる構造だと知れたことは、これからの読み聞かせ活動にも役立てられますし、大人である自分も一緒にワクワクしながら異世界へ没入できる楽しみが湧いてきました。（中原）



講演の様子

第2回 前半 やってみよう！読み聞かせ

講師 藤田満伊さん（左京図書館司書）

後半 科学絵本・科学読み物ブックトーク

講師 島崎真紀子さん

（京都科学読み物研究会会員）

10月11日

第2回の参加者は、事前申込みに加え、当日参加も多数あり、約30名でした。

前半は、藤田司書が読み聞かせの基本について解説しました。絵本を見ながら、お話し会に向く絵本の条件や選び方のほか、本の角度、体の向き、子ども達の見線の高さへの配慮なども細かく紹介。練習は、鏡の前やスマホの録音機能の活用が有効。また、読み手の身だしなみや環境づく



けやきの
本棚

No.73

厨病激発ボーイ プライド超新星

れるりり(Kitty creators)原案

藤並みなと著

角川ビーンズ文庫 2020年

ぼくは、「厨病激発ボーイ」にハマってます。転校生の聖瑞姫は、平穏に暮らしたい

のに厨二病男子たちに出会って、全然平穏じゃないヒーロー部での日々が始まります。そんな厨病ボーイズたちとの日常コメディです。厨病ボーイズたちは、いつも妄想世界に入り浸ったりマイペースだけど、そこがおもしろくて、クスクス笑いながら読んでいます。イラストもたくさん入っていて読みやすいです。そんな厨二病コメディ、あなたも読んでみませんか？（小6 修弥）

りも重要と。そして最後に、「読み手が読むことを楽しむことで、子ども達にも楽しいことが伝わると思います。」とエールをもらいました。

後半は、島崎さんによる科学の本のブックトークです。今回のテーマは「土には不思議がいっぱい」。土とは何だろう？という素朴な疑問をたくさんの絵本や本を使って解説、紹介。また、本に掲載の実験あそびから「ペットボトルに土と水を入れて振ったらどうなるか？」「透明なコップに入れた砂、鹿沼土、庭の土に青インクを加えた水を入れて置いたらどうなるか？」を実演。そして、実験結果を見て、なぜそうなるのかを考えることが重要で、本にはその解説も載っていると話されました。また、絵本や易しい本から順々に読み進めていくことで難しい本も理解でき、面白くなると。お話を聞いて、身近な土が土になるまでの長い年月や物語に感動しました。また、地球環境に対する課題も見え、自分達に何ができるのかを考えるきっかけをもらいました。参加者からは「子ども達と一緒に調べてみたい。」との声があがり、楽しい時間となりました。

(山口)



科学絵本・科学読み物ブックトークの様子

第3回 小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流

10月16日

読み聞かせ交流会の第3回は、小学校で読み聞かせボランティアをしている人たちによる実践交流です。11名のボランティアが参加しました。

まず前半は二つのグループに分かれ、順に持参した絵本を読んでいきました。小学校名、ボランティア歴、選書理由を述べた後、早速実演です。8分という持ち時間を設けているのは、学校での活動という、時間にシビアな状況を考えてのことです。

参加者の選書理由は様々です。十八番の絵本を持ってきた人もいれば、まだ読んでことがない本にトライしたいと選んだ人。経験が浅い人もベテランもいて、「この本なら何年生くらいがいいか？」「高学年におはなし会に来てもらうにはどうしたらいいか？」などの質問に、参加者が自分の経験をもとに答えます。

後半は二組が集まって、それぞれのグループでどのような絵本が紹介され、それについてどのような感想があったか、共有しました。会議室前方に絵本を並べ、各グループの代表者が1冊ずつ手に取りながら説明。この日の学びを、それぞれの学校での活動に生かせる、有意義な時間となりました。

(澤田)

二列目の人生 隠れた異才たち

池内紀著 晶文社 2003年

世に認められた人に劣らない才能があり努力もしながら、足跡が辿り難い人たち。もうひとりの熊楠「大上宇市」、松園のライバル「島成園」、ハーンにならない「モラエス」、無口な魯山

人「中谷巳次郎」、鷗外の双曲線「秦豊吉」、志功を見返す「簗牛人」、賢治の隣人「尾形亀之助」、もうひとりのトビウオ「橋爪四郎」など。それぞれの理由があり人生がある。ちょっと肩から力の抜けた、魅力的な人物伝はいかがでしょうか。

(左京図書館 筒井)



REPORT 第24回

おとなのための語りを楽しむ会

2024年12月7日

師走の声を聞き始めた土曜日の午後、左京図書館上階の会議室で「おとなのための語りを楽しむ会」が開催されました。

今回で24回目となり、少しずつ周知されてきたせいか30名ほどの参加者がありました。また、開始時間より早めの来場者の姿もあり、楽しみに来て下さった様子もうかがえました。

語り手は例年通り「京都おはなしを語る会」のメンバー6名と、第22、23回に引き続き左京図書館の司書さん1名により、7話が語られました。今回のプログラムは朝鮮、日本、ウクライナ、イギリス、ジャマイカの世界各地の昔話に、創作のおはなしが2話の7話です。

骨組みのしっかりとした昔話は、聞き手をぐんぐん引っ張っていく不思議な力があり、作家によって書かれたおはなしは私達を、その個性あふれた作家の世界へと誘ってくれます。参加者たちは最後まで、おはなしの世界をたづねると楽しんでおられました。

参加者からは「想像力がかきたてられ、童心に帰って楽しんだ」「情景が目にかび、映画を見ているようだった」「次回も聞きに来たい」などの感想があり、また何人かからは「本を読むのかと思っていたが、覚えて語っていたので驚いた」との感想もありました。朗読とは異なるひとときを楽しんでいただけたでしょうか。

〔プログラム〕

なくしたボタン（アーノルド・ローベル作）

アナンシと五（ジャマイカの昔話）

大蛇とヒキガエル（朝鮮の民話）

赤鬼エティン（イギリスの昔話）

ねずみのすもう（日本の昔話）

びんぼうこびと（ウクライナの昔話）

しずく的首飾り（ジョーン・エイキン作）

（奥坂）

けやきの活動記録

2024年9月～2025年4月

9/30 「読み聞かせ交流会」第1回開催

10月上旬～講演会準備

10/11 「読み聞かせ交流会」第2回開催

10/16 「読み聞かせ交流会」第3回開催

12/7 「おとなのための語りを楽しむ会」開催

2/15 関成孝さん「宮沢賢治作『セロ弾きのゴーシュ』に
隠された謎!？」講演会開催

2/20～3/9 「図書館で発表会」開催

2月下旬～えほんのひろば展示絵本の選定

3月下旬「えほんのひろばinきょうと」チラシ作成、配布

4/11 ニュースレター73号 印刷・発送

<事務局会議> <図書館とのミーティング>（主に第1金曜日）

10/4, 11/1, 12/6, 1/10, 2/7, 3/7, 4/11

<図書館おたのしみ会に協力>（第4土曜日11:00～11:30）

9/28, 10/26, 11/23, 12/21, 1/25, 2/22, 3/22

<絵本学習会>（第4金曜日、3,7月は第2金曜日、8月は休み）

9/27, 10/25, 11/22, 12/13, 1/24, 2/28, 3/14

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>

（毎月第3木曜日10:30～12:00）

9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/20

ヘルシンキ 生活の練習

朴沙羅著 筑摩書房 2021年

朴さんは社会学者。京都で生まれ育ち、コロナ禍が始まった2020年に、就学前の二人の子を連れて、フィンランドで暮らし始める。フィンランドでは子供の「才能・人柄」ではなく、「ス

キル」を評価するそう。「落ち着きがない性格」ではなく「落ち着いて行動するスキルに欠ける」と捉え、そのスキルをどう向上させるか考えるのだ。社会が抱える問題について、関西弁でユーモラスに真っ直ぐに、「あんたはこれ、おかしいと思わへんの？」と読み手に問いかける。（会員 S.A）

図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30 ～ 12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00 ～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は年会費 500 円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番
口座名称 図書館友の会 けやき

◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

けやき情報版

けやきが京都市社会福祉協議会より表彰

図書館友の会けやきは、2025 年 1 月に開催された京都市社会福祉大会にて、京都市社会福祉協議会会長表彰を受けました。これからも、地域のコミュニティづくりに、本にまつわる活動を通じて貢献していきたいと思います。

えほんのひろば in きょうと

日時：4 月 20 日（日）午前 10 時 30 分～午後 2 時 30 分
会場：左京合同福祉センター 3 階会議室（左京図書館の上階）

おすすめの絵本がすべて表紙を見せて並びます。
午前 11 時からと午後 1 時 30 分から、おはなし会もあります。
（午前：赤ちゃん、午後：幼児・小学生対象、それぞれ 30 分間）
ぜひ、お越しください。

赤い羽根共同募金

ニュースレターは赤い羽根共同募金からの助成を受け作成しています。

編集後記

特集で報告した講演会、会場に入って驚いたのは、男性の参加者がとても多かったことです。童話や絵本をテーマにした講座は女性が多く、歴史ものは男性に好まれる。このような“常識”をとびこえる魅力が、賢治作品にはあるのだと感じました。これからも幅広い方に楽しんでいただける企画を考えていきたいです。（澤田）

旅先の図書館で。上映会や講演会のチラシに混じって、子ども向けに調べ学習の支援をする講座のお知らせがありました。調べる、分かる、興味が広がる、また調べる、そんな良い循環を子どもの時から沢山経験してほしいものです。図書館の資料を使ってどのように調べるのか、一人ひとり手を取って教えてもらえる、そんな講座が身近にあるといいなと思いました。（島崎）

◇けやき 第 73 号 2025 年 4 月 11 日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : info@totomo-keyaki.com